

■米国：住民のスマートグリッドについての理解は低調

2013 年 1 月 23 日付の報道によると、米国の需要家の約 1,000 人を対象としたコンサルティング会社の調査で、スマートグリッドおよびスマートメーターのことを知らないと回答した人がそれぞれ 30%、24%に達した。また、電気事業者が家庭のエネルギー管理サービスを提供していることを知っているとは回答したのは 49%に留まったとしている。一方で、回答者の 76%は家計における電気料金の影響を気にしており、63%がエネルギー使用管理に興味を示しているという結果になっており、エネルギー消費を節約したいという思いはあるものの、その手段となるスマートグリッド関連の技術は住民にあまり浸透していない状況が明らかとなった。